

献本、著者インタビュー等のご依頼は
マイナビ広報担当者までご連絡ください

2015年1月8日
株式会社マイナビ

<新生活にオススメの一冊> 著書の累計部数が 25 万部を突破！
大人気整理収納コンサルタント・本多さおりさんによる初の家事本
『家事がしやすい部屋づくり』 1月15日(木)発売

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区）は、人気整理収納コンサルタント・本多さおりさんによる新刊書籍『家事がしやすい部屋づくり』を1月15日（木）に発売します。

本多さおりさんは、個人宅向けのサービスを中心に活動している、人気整理収納コンサルタントです。人気の理由は、“間取り2K、築43年の社宅賃貸団地（キッチン以外は畳）”という、決して広くも新しくもない自身の自宅を手本にし、生活感のあるシンプルで暮らしやすい部屋づくりを提案している点です。高価な日用品や家具、収納グッズは用いず、等身大ですぐにでも取り入れやすい収納術であるため、高い支持を得ています。

本書は著者初となる、「家事」をキーワードにした書籍です。本多さんによると、**家事のイライラの原因は、ほとんどが収納にある**と言います。スムーズに出し入れできる収納場所と仕組みがあれば、家事はおのずと快適になります。日々の暮らしに欠かせない「家事」を整理・収納の観点から見直し、家事がしやすい部屋づくりの方法を提案します。「ズボラでもこなせる片付けと掃除」「時短家事につながるキッチンの工夫」「家の中が散らかる原因＝モノを見定める」など、さまざまな本多流・家事メソッドが盛り込まれた一冊です。

本多さおり（ほんだ さおり）

暮らしを楽しむための整理収納術の切り口が共感を呼んでいる、新時代の整理収納コンサルタント。2010年に始めたブログ「片付けたくなる部屋づくり」（<http://chipucafe.exblog.jp>）が大人気で、同タイトルの著書はロングセラーに。これまで4冊の著書を手掛け、その累計部数は25万部を突破。サービス利用者からは「物が自然に元の場所に戻せるようになった」「お金と時間とスペースのムダがなくなった」などの声が数多く届く。収納とは、家事をラクする手段であることだと自ら実感したこと、本書を通じ、すぐに実践できる整理収納術を伝えている。



<表紙イメージ>



<書誌情報>

書名：『家事がしやすい部屋づくり』
著者：本多さおり
価格：1,350円（税込） 1,250円（税抜）
判型：A5判 130ページ
ISBN：978-4-8399-5348-5
発売日：2015年1月15日（木）
詳細は「マイナビ BOOKS」<https://book.mynavi.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ 社長室 広報部 渡邊
TEL.03-6267-4155 FAX.03-6267-4050
e-mail：koho@mynavi.jp

紙面イメージ すぐにでも真似できる！家事がしやすい工夫が詰まった、本多さおりさんの自宅

【キッチン】ご飯茶碗や汁碗、湯のみなど、毎日使う道具はしまわずに片手で出し戻しできるようにすれば、炊事がラクに。キッチン下は引き出しを導入して、奥の空間までしっかり活用する方法を提案。

収納ポイント

引き出し式で取りやすい
引き出しを導入して奥の空間をしっかりと活用。1引き出し1ジャンルでわかりやすく。

各フライパンに定位置を
フライパンは片手で取れるように、専用ケースで自立を。調味料はケースにまとめて。

扉裏の活用①
扉に吊るして使えるラック(P124)が重宝。必要なものが手元に取れるから快適。

3層はぎっくりボックスに
吊り戸棚の一番上は、取り出しやすいように、「イケアのVARIERAボックス」に。

④ キッチン 毎日働く道具はしまわない。片手で取れるオープン収納。

①使用頻度の低い保存容器やミキサーのパーツなど空道1〜2層程度使う2重の食器②磁石磁や付板、湯のみなど、毎日使うの食器/片手でも出し戻しできるようにする。毎日の炊事がラクな保存容器、お弁当グッズ、箸、2重の調理道具/引き出しケースを使うと、奥のものも手前に出てくるのでスムーズ③洗剤、消耗品、工具④フライパン、調味料⑤よく使う調味料/扉を開ければ出てくる「扉裏収納法」が◎

扉裏の活用②
専用ケースを付け、保存容器のふたなど軽いものを収納。扉裏はとにかく活用して。

進化するカトラリー収納
数回の手直しを経て、今はこれがベスト。輪ゴムなどは専用式のケースにまとめて。

ステンシルラックでラ段に
毎日使うの食器はオープン棚に。2段にしたくて買ったラックは100円ショップで300円。

【リビング】使うものを用途別にコンパクトにグルーピング。じわじわと増えていく郵便物などは一時保管箱を設置。掃除をラクにするためコンセント類は床から浮かすなど、様々な工夫が施されている。

収納ポイント

文房具は必要なものだけ
取付けは増えていく文房具、むやみに数を増やまず、一冊だけ持つ、いつも整理して。

机の近くに事務用品
手を伸ばせば取れる位置に事務用品をまとめて。専用は白いファイルボックス内で管理。

仕事の案件はまとめて
雑誌や書類の仕事など、1ファイル1案件にまとめてラベリングすれば、すぐに取り出せる。

入れてみたらびったり！
このすき間にちょうどよかった額は、奥に入れた短い突っ張り棒2本が支えの一部に。

④ リビング 食事、仕事、アイロンがけ、くつろぐ。使うものはコンパクトにグルーピング。

①本棚/すき間に木製のボックス家具をセット②紙の一時保管ボックス/処分or保管で決めた紙ものはここに入れ、月1〜2回整理を③書類&文房具/書類は案件別にファイリング④ワーキングスペース/机⑤机ほどの小さなコーナーに机を置き、机の上はパソコンのみ⑥テーブルの下の機/収納の少ないリビングで貴重なスペース。吊り下げ、ウェットティッシュ、リモコンなど、この場で使うものだけ収納

②本棚にコンセントが床につかないように、くるっとまわしたり、コードタップを壁に貼ったり。